

# 天童民報

No.507

日本共産党  
天童市委員会  
TEL654 6064  
FAX654 8984

## 行政視察報告

5月8日から10日まで、厚生・建設常任委員会で行政視察を行いましたので報告いたします。

### 厚生常任委員会

#### 長野県 東御市

東御市は浅間連山を背に、中央に千曲川が流れる緑あふれるまちです。平成16年に東部町と北御牧村が合併してできた新市です。面積は天童市と同じくらいで、人口は3万2千人、高齢者人口7366人と天童市の半分です。

#### 介護予防事業の取り組みについて

65歳以上の全ての高齢者を対象にプール教室（有料）や生き生きサロンで介護予防活動（無料）を行っています。

特定高齢者（要介護になるおそれの高い高齢者）を対象にした介護予防事業については、特定高齢者を把握するために、自治区の実情に合わせて、福祉運営委員や保健指導員（自治区ごとに市長が委嘱）の協力で認知症予防・早期発見のために、「脳いきいき教室」、足腰の健康状態をチェックする健脚測定と指導をする「足腰シヤンシヤン教室」を実施し、それぞれ800〜950名が参加しています。各地区の公民館での開

催や各区の保健指導員の声かけが功を奏しています。

認知症予防には、「二段階方式システム」を導入しており、認知の予防、早期発見、進行防止・回復に大きな成果があるようです。

これらにより把握した特定高齢者は200人ちよつとおり、通所型の介護予防事業を展開しています。

- \* 筋力向上トレーニング  
器械を使用した筋力向上の運動を理学療法士や健康運動指導士が個別指導（30名）
- \* プールトレーニング  
健康運動指導士が個別指導（20名）
- \* センターでの介護予防サービス  
高齢者センターで介護予防講座・昼食・入浴・趣味活動等（160名）
- \* 宅老所での介護予防サービス  
宅老所で趣味活動・日常動作訓練（20名）
- \* 閉じこもり予防  
介護保険事業所で閉じこもり・認知症・うつ予防の予防（5名）

長野県は介護保険導入前

から老人福祉施策が進んでおり、積極的な取り組みをしていました。保健指導員は2年任期ですが、交代することによって、関心が高まることや、協力する姿勢ができるなどの効果があるようです。

#### 静岡県 掛川市

掛川市は静岡県の西部に位置し、平成17年に大東町・大須賀町と合併。面積は265平方、人口11万4千余の市で、全国に先駆けて生涯学習都市を宣言したまちで有名です。

#### 保健事業の取り組みと福祉医療の連携

市の庁舎から離れた場所にある掛川市徳育保健センターには福祉生活部の保健予防課が入っています。また、三師会館（医師会・歯科医師会・薬剤師会）が隣接しています。

妊娠期から高齢期まで、生涯にわたる健康づくりについて説明を受けました。県の事業の特定不妊治療費助成は所得制限がありませんが、市は制限なしで助成しています。

乳児期では6か月児にブツクスタートで絵本1冊が支給されます。

幼児期に保育園・幼稚園でフツ素洗口が行われていました。1、2園やっていないところもありました。事前に保護者への説明会を開いて、希望をとり、希望しない児童には水で代用す

毎月第2土曜日に弁護士による無料法律生活相談を行っています。日本共産党天童市議団では、いつでも相談をお受けします。

伊藤和子 (653) 5196  
石垣昭一 (653) 3715

かかりつけ手帳

合併と同時に市長が替って、お薬手帳の機能を高め

た「かかりつけ手帳」の作成を提案。三師会の快諾を得て、手帳作成・普及費用として350万円を補助。9万冊作成し、三師会を通じて、掛川市と近隣の菊川市、御前崎市の病院、診療所、歯科医院、薬局に配布。市民へポスターや広報紙でPR活動し、昨年4月からスタートしている。

医療機関では検査・診断結果、歯科医院は処置記録や入れ歯の作成履歴、薬局では従来のお薬手帳の内容に加えて医師・歯科医師への報告事項を記入している。情報の一元化、共有化で、不必要な投薬や検査、危険な副作用回避など、長い目で見れば、医療費削減にもつながると言っています。

#### 保健活動推進委員

市内33地区から201名の保健活動推進委員が選出され、行政と地域の健康づくりのパイプ役として活動しています。区長推薦で2年の任期です。

主な活動は保健事業のPRや協力、地区活動、研修・講習会などですが、市立病院の見学（3・5h）を必ず行っており、市民の病院としての認識を高めることや気付いた意見を直接つづけることができることなど天童でも検討の余地があるのではと思いました。

（厚生・伊藤和子）

## 建設常任委員会

### 愛媛県・松山市

#### はじめに

松山市は平成 17 年 1 月 1 日に、隣接する 1 市 1 町と合併し人口約 52 万人の四国最大の都市となった。平成 13 年に発生した芸予地震や今後 30 年で 50% の確率で発生するといわれている南海地震の被害予測等により、消防防災対策を一層強化する必要性にせまられている。

平成 15 年に策定した総合計画のなかに「安全・安心日本一のまちづくり」を加え、防災体制の確率を重要施策として位置づけ、地域防災力の向上を図ることを目的に、原動力となる消防団の活性化と自主防災組織の充実強化に努めている。

#### 松山市消防団の概要と問題点

消防団員定数 2301 人、 実員数 2242 人、 平均年齢 43.5 歳

社会環境の変化等から消防団員が減少し、団員の高齢化とともにサラリーマン化等で年々団員の確保が困難になっている。

合併により山間地など、有人の離島 6 島が編入され常備消防がなく消防団の活動強化が課題となっている。

#### 機能別消防団員導入の経緯

平成 17 年 1 月、消防庁通知「消防団員の活動環境の整備について」

「機能別団員」 - 特定の活動のみに参加する団員

地域住民が消防団に参加しやすい環境をつくるための組織・制度の多様化の一例として機能別消防団員制度を導入する。

平成 17 年 4 月消防庁通知後、全国初の機能別団員の採用を行った。

#### 郵政職員の消防団入団について

平成 16 年推進委員会を設置し、日本郵政公社四国支社と協議を行う。

沿岸部に位置し津波・高潮の被害が想定される松山西郵便局と提携。

平成 17 年 4 月 1 日から運用開始、31 人が松山消防団に入団

#### 活動内容

大規模災害時の 消防団員の人員確保 サラリーマン団員の日中不在時の活動支援 郵政業務が地域に精通していること等を採用の理由として、大規模災害時に限定した活動をする。

災害時の活動として防災情報の通報、住民への情報提供、避難誘導支援、負傷者の救出応急救護等で平常時は防災訓練、研修を行う。

#### 大学生防災サポーターの消防団入団について

市内 4 大学に協力を求め、チラシ等募集ポスターの掲示を行う。

平成 18 年 4 月 74 名で発足する。

#### 災害時の活動内容

避難所での活動を主な任務としチーム編成している。

情報連絡 物資管理 物資配布 通訳 救護等。

日常は訓練の参加とともに救急指導をうける。

#### 事業所消防団員について

平成 19 年 4 月運用を開始する

ネットトヨタ瀬戸内株式会社より 10 名入団

消防団分団に所属し日中に限定し、通常火災に出動するなどの消防活動を行う。

在職する基本団員(在職する地域消防団員)の被雇用者団員が多い地域において事業所を単位として班を組織している。

基本団員と同じ身分であり出初式や行事・訓練に参加する。

#### ま と め

松山市消防団では、45% が被雇用者団員(サラリーマン団員)であり、社会環境の影響により消防団員の高齢化を始め団員数の確保など多くの課題に直面しています。天童市に於いても例外ではありません。地震などの大規模災害等で市民をどう守るのか、地域消防団の役割は極めて重要であり、女性消防団の創設を始めとした機能別消防団のあり方を検討することが求められています。

(建設・石垣昭一)